



2025年11月6日

各位

会社名 第一実業株式会社
代表者名 代表取締役 社長執行役員 船渡 雄司
(コード番号 8059 東証プライム市場)
問合せ先 経理部長 田端 裕也
(TEL 03-6370-8697)

通期業績予想の上方修正及び期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2025年5月9日に「2025年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」において公表した2026年3月期の業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 業績予想の上方修正について

（1）2026年3月期通期連結業績予想数値の修正（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 220,000	百万円 12,000	百万円 12,300	百万円 8,600	円 銭 269.74
今回修正予想（B）	225,000	13,200	13,500	9,600	300.84
増減額（B－A）	5,000	1,200	1,200	1,000	
増減率（％）	2.3	10.0	9.8	11.6	
（参考）前期連結実績 （2025年3月期）	221,755	13,103	13,597	8,841	278.57

（2）2026年3月期通期個別業績予想数値の修正（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 189,000	百万円 8,300	百万円 5,800	円 銭 181.92
今回修正予想（B）	189,000	10,800	7,900	247.56
増減額（B－A）	—	2,500	2,100	
増減率（％）	—	30.1	36.2	
（参考）前期個別実績 （2025年3月期）	179,213	10,347	7,868	247.90

(3) 修正の理由

2026年3月期の業績につきまして、特に自動車事業、ヘルスケア事業、航空・インフラ事業で大型案件の納入が進み、また、エレクトロニクス事業も比較的順調に進行しております。米国の関税政策の不安要素や急激な為替変動への懸念などにより、先行きについては依然として不透明な状況ではあるものの、当社の主要な販売先である製造業の設備投資は期初の想定以上に堅調に推移しており、連結業績につきまして売上高及び各段階利益が、個別業績につきましては売上高を据え置くものの、こちらも各段階利益が前回公表値を上回る見込みとなりました。このことから、上記のとおり連結及び個別の業績予想を上方修正するものであります。個別業績につきましては、グローバルキャッシュマネジメントの一環として海外連結子会社からの受取配当金を予定しており、これも個別業績予想修正の要因となります。

なお、本業績予想の前提となる為替レートにつきましては、期初においては米ドル140円、ユーロ156円、人民元20円としておりましたが、中間期末時点での各為替レートの見通しを米ドル146円、ユーロ174円、人民元21円と見直し、業績予想に織り込んでおります。

※上記の業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 期末配当予想の修正（増配）について

(1) 修正の内容

	年間配当金（円）		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回予想 (2025年5月9日公表)	51円00銭	57円00銭	108円00銭
今回修正予想		71円00銭	122円00銭
当期実績	51円00銭		
前期実績 (2025年3月期)	41円00銭	51円00銭	92円00銭

注 前期実績の期末配当金には特別配当8円00銭を含んでおります。

(2) 修正の理由

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要政策の一つとして位置付けております。成長戦略「V2030」の実現に向けた成長投資を含む今後の事業展開及び安定配当の継続等を総合的に勘案の上、親会社株主に帰属する当期純利益の40%の配当性向、またはDOE（株主資本配当率）4.0%のいずれか高い方を基準として、業績に応じた適正な配当を実施してまいります。

この方針と、上記の業績予想上方修正を踏まえ、株主の皆様に対しより高い利益還元を行うこととし、期末配当は前回予想の1株当たり57円から14円増配し、71円とさせていただく予定であります。これにより、年間配当金は1株当たり122円となる予定であります。

以 上